

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	埼玉県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	本庄市立本庄南小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	18
児童数	80	75	66	78	70	63	3	435	

研究の概要

1. 研究主題

**「基礎・基本の定着と個を伸ばす指導の在り方」**  
 — わかる喜びを味わう授業づくりをめざして —

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<少人数指導>  
 1～6年生算数  
 ・積み上げの教科で児童の理解度にかかなりの個人差がある。そこで、児童の理解の状況や習熟の程度に応じて小規模な学習集団を編成し、個に応じたきめ細かな指導をすることで指導の効果が期待できるので全学年で継続して取り組みたい教科である。

<教科担任制>  
 5年生・6年生 実施  
 国語 社会 算数 理科 体育  
 ・中学校で行われている教科担任制への移行をスムーズにする。  
 ・教員の得意分野を生かして指導の充実を図り、児童の興味・関心を高めるとともに基礎・基本の定着を図る。  
 ・教員の得意分野を生かした教科担任制を導入することで学ぶ楽しさを体験させ、学習意欲を高められる。  
 ・複数の教員が、教科指導にあたることにより、児童のよさを見つけ個を伸ばすことができると考えられる。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ                  「基礎・基本の定着と個を伸ばす指導のあり方」</p> <p>仮説                  ・児童一人一人の関心・理解や習熟度に応じて学習集団の編成を考慮したり、習熟度別学習を取り入れ課題にじっくり取り組ませる指導法を研究し実践することにより、基礎・基本が定着し個を伸ばすことができると考えられる。                  ・教員の得意分野を生かして個に応じたきめ細かな指導をすることで児童の学習意欲を高め、基礎・基本の定着を図ることができる。また、複数の教員が、教科指導にあたることにより、児童のよさを見つけ個を伸ばすことができると考えられる。</p> <p>研究内容・方法                  時間割の作成について                  ・少人数指導と教科担任制を加味した時間割編成                  少人数指導について                  ・算数における基礎・基本のとらえ方                  ・児童用アンケートの作成と集計・考察</p>
--------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科担任制について</li> <li>・教科における基礎・基本のとらえ方</li> <li>・基礎・基本の定着のための指導のあり方</li> <li>・個を伸ばす指導のあり方</li> <li>　　&lt;授業の実践を通して&gt;</li> <li>　　&lt;児童の意識調査&gt;</li> <li>　　&lt;児童へのアンケートの作成と集計・考察&gt;</li> <li>・授業研究会</li> <li>　　教材研究と指導案づくり</li> <li>・年間指導計画の見直し</li> </ul>
--	---

平成15年度	<p>テーマ 「基礎・基本の定着と個を伸ばす指導のあり方」 ——わかる喜びを味わう授業づくりをめざして——</p> <p>仮説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人の関心・理解や習熟の程度に応じて学習集団の編成を考慮したり、習熟度別学習を取り入れ課題にじっくり取り組ませる指導法を研究し実践することにより、基礎・基本が定着し個を伸ばすことができると考えられる。</li> <li>・教員の得意分野や意欲を生かして個に応じたきめ細かな指導をすることで児童の学習意欲を高め、基礎・基本の定着を図ることができる。また、複数の教員が、教科指導にあたることにより、児童のよさを見つけ個を伸ばすことができると考えられる。</li> </ul> <p>研究内容・方法</p> <p>平成14年度の課題を明らかにしての改善 少人数指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態を生かした習熟度別学習の指導法について</li> <li>・より効果的な学習集団の編成の仕方</li> <li>・個を生かし、学力を高める指導法</li> <li>・新しい単元での習熟度別授業の実践</li> <li>・指導と評価の一体化</li> <li>　　&lt;授業の実践を通して&gt;</li> </ul> <p>教科担任制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の興味・関心を高める指導のあり方</li> <li>・個を生かし、学力を高める指導法</li> <li>・指導と評価の一体化</li> <li>　　&lt;授業の実践を通して&gt;</li> </ul> <p>共通課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師間の情報交換のあり方 　　(担任と教科担任・担任と少人数担当の連携の仕方)</li> <li>・年間指導計画の見直し</li> <li>・発展的・補充的学習の教材開発</li> <li>・学力向上を評価するための評価資料の作成</li> <li>・保護者への理解を図るうえでのシラバス作成・ホームページ開設</li> <li>・総合的な学習の時間の充実</li> </ul>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 「基礎・基本の定着と個を伸ばす指導の在り方」 わかる喜びを味わう授業づくりをめざして &lt;検討中&gt;</p> <p>仮説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人の関心・理解や習熟の程度に応じて学習集団の編成を考慮したり、習熟度別学習を取り入れ課題にじっくり取り組ませる指導法を研究し実践することにより、基礎・基本が定着し個を伸ばすことができると考えられる。</li> </ul>
--------	---

- ・教員の得意分野や意欲を生かして個に応じたきめ細かな指導をすることで児童の学習意欲を高め、基礎・基本の定着を図ることができる。また、複数の教員が、教科指導にあたることにより、児童のよさを見つけ個を伸ばすことができると考えられる。

### 研究内容・方法

平成15年度までの課題を明らかにしての改善

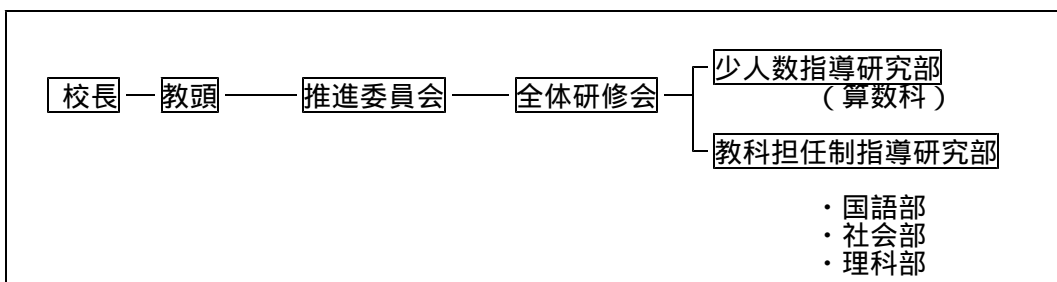
少人数指導について

- ・児童の実態を生かした習熟度別学習の指導法について
- ・より効果的な学習集団の編成の仕方
- ・個を生かし、学力を高める指導法
- ・指導と評価の一体化  
 <授業の実践を通して>

教科担任制について

- ・児童の興味・関心を高める教科担任制のあり方
  - ・個を生かし、学力を高める指導法
  - ・指導と評価の一体化  
 <授業の実践を通して>
  - 共通課題
    - ・教師間の情報交換のあり方  
 (担任と教科担任・担任と少人数担当の連携の仕方)
    - ・発展的・補充的学習の教材開発
    - ・学力向上を評価するための評価資料の活用
    - ・保護者への理解を図るうえでのシラバス作成・ホームページ開設
    - ・総合的な学習の時間の充実
- 3年間の研究のまとめ

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

#### 本年度の成果

##### 少人数指導について

##### 1・2年生の実践から

- ・少人数で教えることにより、一人一人に目が届き個別指導が行えた。学習の進め方を説明し目標を設定したことにより学習意欲が高まった。
- ・少人数指導に慣れてきたので児童が授業の体制にスムーズに入っていた。
- ・かけ算九九の各だんのまとめでは、1クラスを3分割し3人の教員で指導にあたったことやパソコンコースの設定等により、児童は、「わかった」と声を上げ、生き生きと楽しく活動できた。この取り組みは習熟度別学習につながるものである。

##### 3～6年生の実践から

- ・少人数指導・習熟度別学習に慣れてきたので児童が授業の体制にスムーズに入っていた。
- ・少人数指導により、よりよく理解できたり質問がしやすかったりすることがわかる喜びにつながり基礎・基本の定着に結びついた。
- ・習熟度別学習では自分にあったコースで学習できるので発表の機会も増え

- 個を伸ばすことができた。
- 少人数指導とT・T対応を組み合わせることできめ細かな指導ができた。
- 自己評価をすることから個々の授業のつまずきを見つけ個別指導に生かすことができた。
- コース選択でレディネステストの結果と少人数だより（両面刷り）を家に持ち帰り、保護者とともに習熟度別学習におけるコース選択をしたことで、保護者の理解を得られた。
- 習熟度別学習により、じっくりわかるまで学習したい児童といろんな問題をやってみたい児童の思いが達成されてきている。
- 担任と少人数指導担当者が打ち合わせをすることで教材研究の時間が増え、指導に生かすことができた。
- 少人数で教えることにより、一人一人に目が届き個別指導が行えた。
- 具体的な操作を取り入れることで、児童が自らの課題を解決し達成感が得られた。
- 発問を工夫し、児童の発表の場を多くとることにより、問題を解決しようとする意欲的な態度が見られた。

#### 教科担任制指導について

- 教科担任制になり、「授業がわかりやすく楽しい。」と感じている児童が多くなっている。
- 児童は、興味とともにめあてを持って、学習に取り組めるようになった。
- 学習環境を整えることにより、教材が使いやすく児童が進んで活動するようになっている。
- 教科の系統性をふまえて授業実践ができた。
- 担任同士で共通理解を図ることにより、生徒指導上、積極的な指導ができた。
- 教科担任を経験する機会を与えられて、以前よりその教科に前向きに取り組めた。
- 1単位時間の授業内容が充実した。
- 課題選択授業にT・Tを活用して、個に応じた指導ができるようになった。

## 2. 今後の課題

### 課題

#### 少人数指導について

- 単元における学習内容・質・つまずきを考慮した学習集団編成のあり方をさらに考えていきたい。
- 学習内容や学習方法を児童や保護者にさらにわかりやすく知らせる工夫が必要である。
- 習熟度別学習を充実するための指導方法の改善・評価の方法についてさらに検討していくことも今後の課題である。
- 少人数指導の打ち合わせの時間の内容の充実を図っていきたい。

#### 教科担任制指導について

- 教科担任制を支えるための系統的な指導の充実を図っていきたい。
- よりよい教科担任制を支える支援体制のあり方を考えていきたい。（T・T体制や時間割）
- 学級の児童一人一人の学力をより正確に把握する手だてを考えていきたい。
- 児童のよさを生かす評価の在り方について、さらに研究を進めていきたい。
- 教科担任同士の打ち合わせの時間の確保や内容の充実を図っていきたい。

## 学力等把握のための学校としての取組

- 定期的な学力調査の実施（年1回）  
15年度 1～6年生・・・平成16年2月5日実施

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・平成14年度 北部地区学力向上推進協議会研究協議会  
【平成15年2月28日(金)・総合教育センター(深谷支所)】
- ・平成15年 11月28日(金) 公開授業並びに研究発表会  
【本庄市立本庄南小学校】
- ・平成15年度 北部地区学力向上推進協議会研究協議会  
日時・・・平成16年3月2日(金)実施予定  
場所・・・本庄市文化会館  
パネル展示と屋台方式での発表
- ・HP開設(平成15年7月)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】             6学級以下             7～12学級  
                          13～18学級             19～24学級  
                          25学級以上
- 【指導体制】             少人数指導             T・Tによる指導  
                          一部教科担任制         その他
- 【研究教科】             国語             社会             算数             理科  
                          生活             音楽             図画工作  家庭  
                          体育             その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有       無